

鹿児島茶丸ペパクラ組立説明書



4 接着部分にすき間がある場合は、この段階で直しておきます。すき間にボンドをつけるには、紙の切れ端やつまようじなどを使うとうまくゆきます。



5 胴を組み立てます。曲面が多いので、丸い棒などで図のように丸みをつけておくと組み立てやすくなります。



6 胴の上半分と下半分を組み立て、最後に中央部分を接着します。



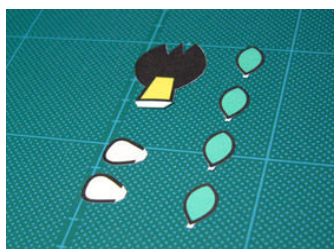
1 接着には木工ボンドがおすすめです。耳、まげ、お茶の葉は図のように大きめに切り取り、点線に沿ってカッターですじを入れ、折り曲げます。



7 袖を作ります。図のように輪をつくり、だ円形になるようにします。差込部分は折りぐせをつけて内側にボンドをつけます。



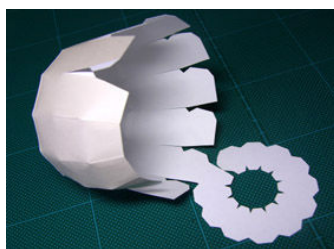
2 裏にボンドをつけて貼り合わせ、乾いたら切り抜きます。



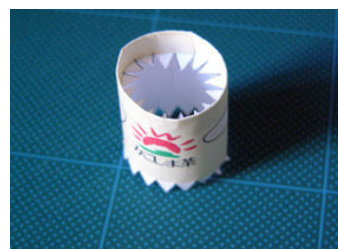
8 袖を胴に差し込み、胴の内側で接着します。差込口が小さいときは、カッターの刃を差し込んで調整します。前掛けを上帯の縁に沿って接着します。胴に沿って丸みをつけておくとうまく接着できます。



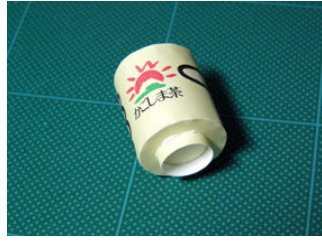
3 頭頂部から下に向かって頭を組み立てます。耳やまげを差し込む切れ込みも忘れずに切っておきます。



9 湯飲みを図のように筒状に組み立てます。



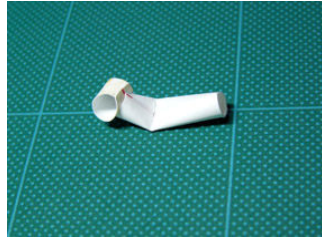
10 お茶の表面と湯飲みの底面を接着し、最後に湯飲みの台（糸底）を輪にして底につけます。



16 たすきを左手に通します。



11 左手と腕を赤い線的位置にあわせて接着します。左腕は、腕の線に沿って折り曲げます。切れない程度にカッターの刃などを押し当てて折るとうまくいきます。



17 左肩から背中に回して、右袖下から右手に通します。



12 首ののりしろにボンドを3~4数か所つけ、えりの中心とあごの線を目安にして頭を胴に接着します。赤い線的位置にあわせて湯飲みと右腕を接着します。右腕はそでの上部に接着します。



18 背中は図のようにになります。たすきの長さを調整して、背中で接着します。



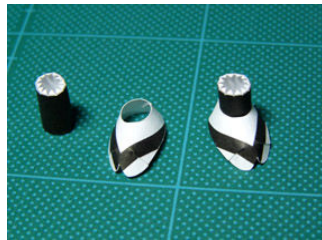
13 左腕は図のように手が上帯の位置に来るようにして、手と腕の裏側、腕の付け根部分に接着剤をつけ、接着します。



19 かごを組み立てます。かごは下から順に組み立て、最後に上からふたをするように接着します。



14 足を組み立てます。足首を差し込み、床に着くまで上から押し込みます。



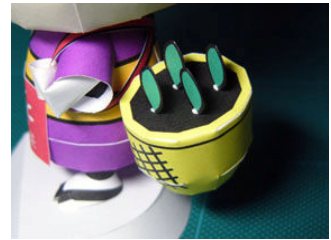
20 はじめに作ったお茶の葉ののりしろにボンドを少しつけ、かごの差込口にさしてゆきます。



15 台を図のように組み立てて、足位置のマークを目安に足を接着します。親指の方が出っ張っていますので、足の左右は親指の位置で判別してください。



21 かごの横にあるマークにボンドをつけ、胴に接着します。完成図のように、少し斜めになるように接着します。最後に、葉っぱと同じようにまげと耳をつけて完成です。

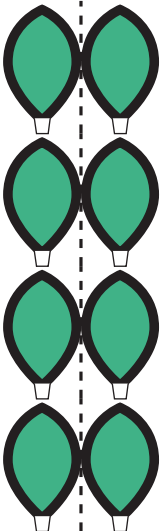




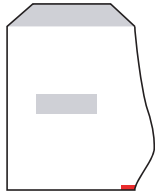
(社)鹿児島県茶生産協会 マスコットキャラクター

鹿児島茶丸 ペーパークラフト

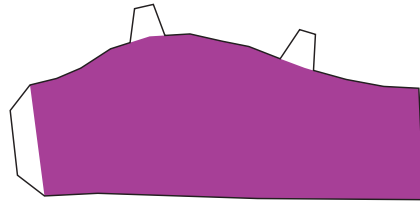
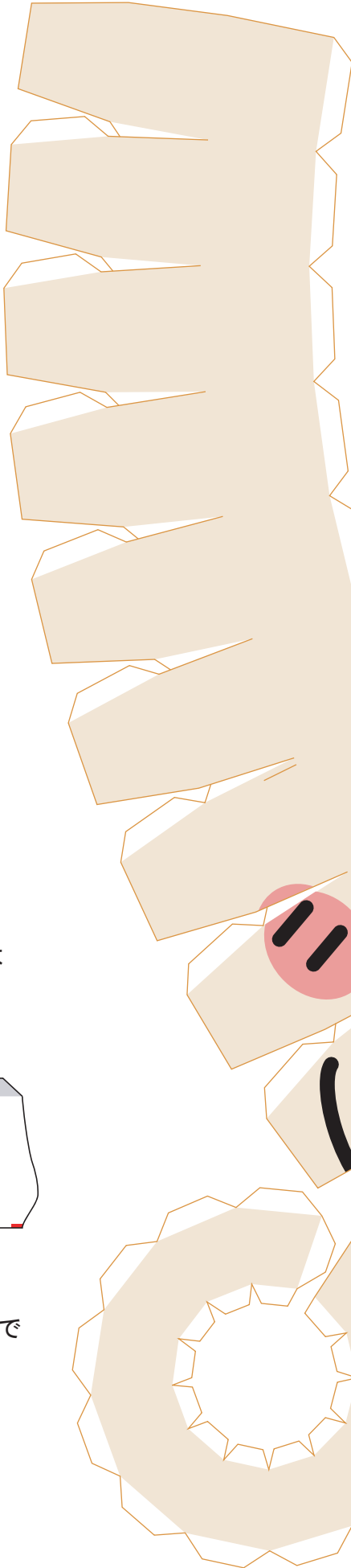
たすき



お茶のは

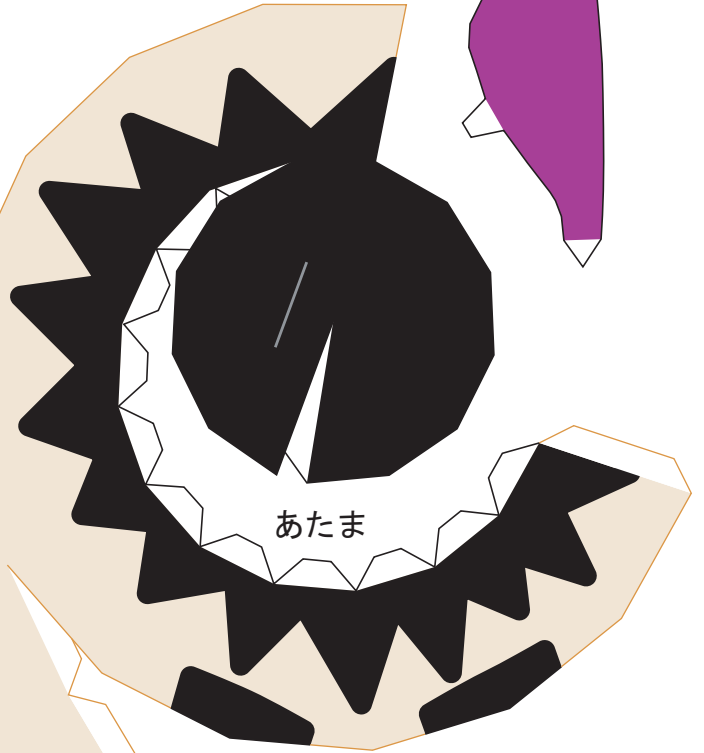
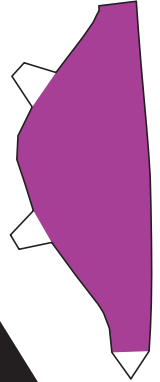


みぎうで

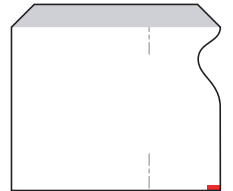


みぎそで

ひだりそで



あたま



ひだりうで



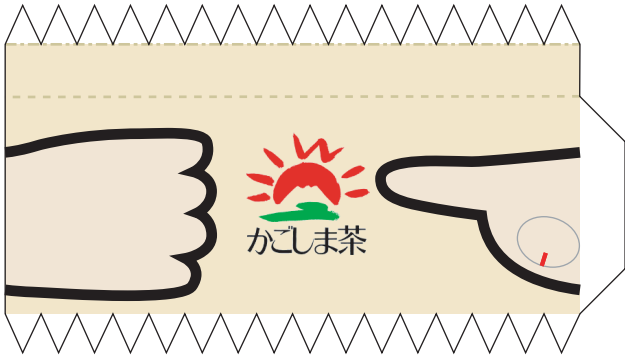
ひだりて



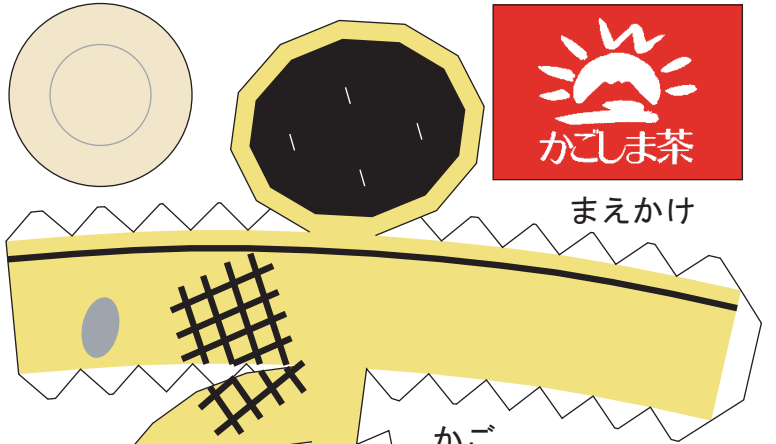


(社)鹿児島県茶生産協会 マスコットキャラクター

鹿児島茶丸 ペーパークラフト

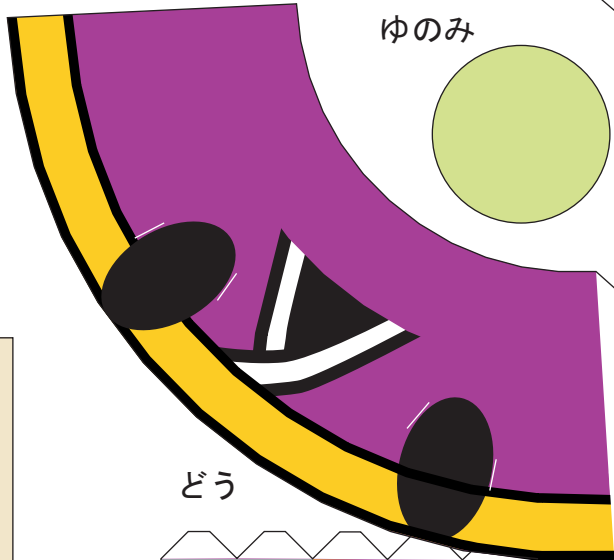


かしま茶



かしま茶

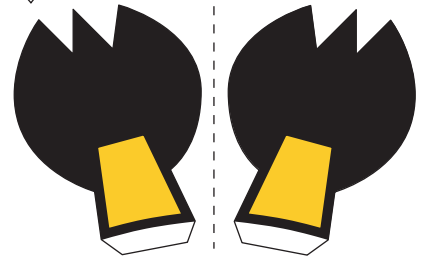
まえかけ



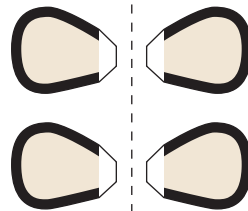
ゆのみ

かご

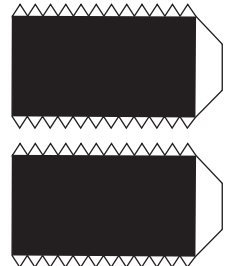
どう



まげ



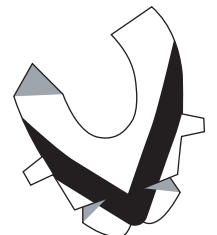
みみ



あし



みぎあし



ひだりあし



鹿児島茶丸

だい

- ・接着は木工ボンドがおすすめです
- ・実線(—)は、はさみで切る
- ・破線(----)は、山折り
- ・一点鎖線(- - -)は、谷折り
- ・■は、位置を合わせて接着